

## 活動の柱

- 1 青少年の体験活動の促進
- 2 青少年団体の育成と支援
- 3 青少年に望ましい地域づくり
- 4 青少年に関する相談と対応
- 5 青少年に関する調査と情報提供

## つばさ

神奈川県青少年指導員だより

## 第 46 号

- 2012 年 3 月 -

発行 神奈川県青少年指導員  
連絡協議会  
発行者 鈴木勝雄  
連絡先 045-210-1111 (代)  
神奈川県青少年課内  
印刷 有限会社青史堂印刷  
042-748-3921

## 第44回「神奈川県青少年指導員大会」開催

わたしたちができること ～みんなで育てよう！未来を創る子どもたちを～

平成 23 年 11 月 20 日、大和市生涯学習センターホールで行われた第 44 回神奈川県青少年指導員大会。県内各地から 544 人の参加者を迎えて、盛大に開催されました。

県央地域青少年指導員連絡協議会では、平成 22 年 8 月 27 日に実行委員会を立ち上げ、大会開催に向けて準備を進めてきました。各市町村協議会の活動紹介コーナーを設けるなど独自の企画もあり、県央地域の熱心な活動の一端を感じて頂けたのではないのでしょうか。



オープニング

## ◆ オープニング

地元大和市立中央林間小学校を拠点に活動している、中央林間一輪車クラブの皆さんによる華麗な演技で幕を開けました。衣装も華やかで、スピード感のある演技と相まって大変印象に残りました。

## ◆ 開会・表彰式

大会実行委員長からの開会宣言の後、県青少年指導員連絡協議会の鈴木勝雄会長、神奈川県の黒川雅夫副知事、大和市の井上昇副市長から主催者挨拶がありました。

鈴木会長は、3月の震災後に地域や人とのつながりの大切さが見直されていることに触れ、この大会を青少年指導員一人ひとりが「未来を創る子どもたちのために何ができるか」と



主催者挨拶

改めて考え、行動するための契機にしていきたいと決意を述べました。

続いて、今年度の青少年指導員表彰を受賞された 62 名の皆さんへの感謝状の贈呈が行われ、それぞれの地域での熱心な活動に対して惜しめない拍手が送られました。

## ◆ 活動事例発表

事例発表は、活動の参考になるアイデアや工夫などを知ることのできる貴重な機会です。今大会では厚木市と海老名市から発表があり、「地域の様子がよく分かった」「とても参考になった」「大変ですが、子ども達の笑顔のために頑張ってください」などの声が聞かれました。

## ◆ 講演会

極地マラソンランナーの赤坂剛史氏を迎えて「あきらめない気持ち、かなえる夢」をテーマにお話を頂きました。

赤坂氏は 2000 年、河口湖マラソンでフルマラソンに初挑戦。4 時間 2 分で完走して以降、30 以上のマラソンやトライアスロンなどに参加されていますが、2010 年 6 月にゴビ砂漠マラソン（中国）を完走して、11 月の南極マラソンへの参加資格を取得し、過酷な環境の中、見事に 250km を完走した様子を映像を交えながらお話し下さいました。

「努力の素晴らしさを感じた」「自分の足跡は次の人のためにあると言う言葉はよかった」「夢を持ちそれに向かって挑んでいく姿に勇気をもらった」などの感想が多く寄せられました。



講演会の様子

## ◆ 終わりに

最後に、次回横浜大会の大会実行委員長である石井一也委員長（横浜市長）による来年の大会の案内、堀田哲郎副実行委員長（厚木市長）による閉会の言葉で大会の幕を閉じました。

# 神奈川県青少年指導員大会の舞台裏

## 第 44 回神奈川県青少年指導員大会実行委員長 鈴木 勝雄

大和市生涯学習センターで開催された第 44 回神奈川県青少年指導員大会（以下大会）について、舞台裏からの視点でお話します。

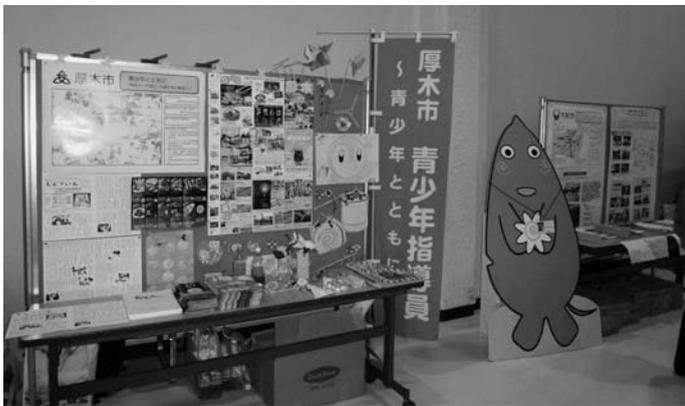
まず、今大会は県央地域の 7 市町村が担当となり、その実行委員会は平成 22 年 8 月から 5 回の会議を重ねました。テーマを決める第 2 回実行委員会が平成 23 年 3 月 11 日だったこともあり（東日本大震災のため延期）、メインテーマは被災地への想いを込めて「わたしたちができること」にしました。大会当日の災害（地震）等に備えての「目配り、気配り、心配り」も忘れませんでした。

次に、オープニングアトラクションは、これまで来賓

の方々にご覧頂けませんでした。今回は会場のホール内で鑑賞することができました。また、講演会を活動事例発表後に開催しましたが、多数の方々に最後まで熱心に視聴していただきました。

さらに第 40 回大会（前回県央地域担当）で好評だった「パネル展示」（7 市町村の活動内容をパネルで展示）を今大会も企画し、他の地域との情報交換や活動のあり方などの意見交換ができました。

大会終了後は、実行委員およびスタッフによる懇親会を会費制で行い、他の市町村との相互理解と連携を深めることができました。今後も大会を通じて指導員同士の絆を深めることができると良いと思います。



大盛況だったパネル展示

# 表彰を受けられた青少年指導員のみなさん

これまでのご尽力に深く感謝の意を表するとともに、心からお祝いを申し上げます。

(敬称略)

### ■ 横浜市

洞山	美知雄	神奈川県	鈴木 幸子	緑 区
松下	裕幸	西 区	村上三代子	青葉区
井上	秀和	中 区	阿部 收一	戸塚区
池田	喜久雄	南 区	遠藤 馥男	戸塚区
保坂	彰一	南 区	小林 健一	栄 区
鳥海	隆義	保土ヶ谷区	伊藤 勝美	泉 区
庄谷	節子	保土ヶ谷区	大 倉 政 男	瀬谷区
野澤	澄夫	保土ヶ谷区		
島貫	敏江	旭 区		
小山	信一	磯子区	■ 川崎市	
峪	文隆	港北区	荒 関 良 行	川崎区
竹生	恵子	港北区	小山内 隆夫	幸 区
相原	明夫	港北区	佐野 愛子	中原区
佐藤	康昭	港北区	谷野 光國	高津区
佐々木	貞貴	港北区	土田 雅美	宮前区
加山	高男	緑 区	田 代 一 夫	麻生区
石井	ツネ子	緑 区		
仲丸	昭夫	緑 区		
土屋	友幸	緑 区		

### ■ 相模原市

安室 久美子	緑 区
小瀧 恵子	緑 区
座間 豊南	南区
朝 枝 美恵子	南区

### ■ 横須賀三浦地域

折原 孝子	横須賀市
原田 尚明	横須賀市
山森 美紀	鎌倉市
亀岡 立之	三浦市

### ■ 県央地域

細山 信	厚木市
吉田 勝行	厚木市
酒井 博行	大和市
白井 富也	大和市
藤井 勝英	海老名市
山田 映子	座間市
森 敏 孝	綾瀬市

### ■ 湘南地域

石井 康仁	平塚市
伊川 眞理	平塚市
山口 茂	平塚市
石原 友子	藤沢市
大塚 富美子	藤沢市
富田 きく江	藤沢市
小池 喜美恵	茅ヶ崎市
多田 光正	伊勢原市
江藤 教淳	寒川町

### ■ 足柄上地域

柳生 久男	大井町
-------	-----

### ■ 西湘地域

佐宗 雅幸	小田原市
丹下 孝友	湯河原町

(ご了承いただいた方のお名前を掲載)

# 平成23年度社会環境実態調査結果

今年度は、次の3つの業種を対象に調査を実施しました。ご協力いただいた皆さまに改めてお礼申し上げます。

カラオケボックス	24時間営業の店舗が年々増加し、全体の1割を超えました。「18歳未満深夜立入禁止の表示」は、ほぼすべての店舗で掲示されています。
インターネットカフェ・まんが喫茶	表示の無い店舗が増加しました。条例で努力義務としているフィルタリング措置も、4割程度の実施率にとどまっています。
書店	今年から「有害図書類区分陳列等調査」を社会環境実態調査に統合しました。「区分陳列」「18歳未満閲覧・購入禁止の表示」とも、調査開始の平成18年以降、毎年改善されています。

この調査で問題のあった店舗には行政職員が立入調査を実施して、確認や指導を行っています。また、今年度は、調査をお願いしている青少年指導員や青少年相談員、行政職員を交えた「社会環境実態調査検討委員会」を開催し、今後の方向性などについて意見交換を行いました。

## 神奈川特命子ども地域アクター 養成アクションがスタートします!

県は、NPOや企業と協働し、「神奈川特命子ども地域アクター養成アクション」をスタートします。この事業は、子どもの社会性を育み、地域における活動の企画や運営に、子どもが意見を言ったり、大人と一緒に取り組む機会を増やすことを目的とするもので、まちづくりに積極的に関わろうとする子どもを、「特命子ども地域アクター」として養成して、まちづくり現場へ派遣します。

ただ今、特命子ども地域アクターの派遣先となるまちづくり現場の募集を行っており、応募締切は5月10日となっています。県ホームページには、募集の詳細や応募用紙を掲載しておりますので、子どもの意見を取り入れて、地域活動の企画や運営を行いたいと考えている団体は、ぜひお申し込みください!

かながわ子どもの社会参画をすすめるキャラクター  
神奈川ラン (ランちゃん)



### <事業スケジュール (予定) >

	まちづくり現場	(参考) 特命子ども地域アクター
春	5月10日(木) 募集締切 (7~10団体を募集)	4月 特命子ども地域アクターの決定 (2~3月に募集を実施) 5月下旬~6月の日曜日 まちづくり現場への派遣に向けたいろは講座の受講
夏	6月24日(日) 午後 特命子ども地域アクターとまちづくり現場の顔合わせ会議 (まちづくり現場は、会議終了後に応募団体同士の交流会あり) 7月31日(火) 追加募集締切 (募集(5月10日締切)の結果、空きがある場合)	
秋	7~10月 まちづくり現場へ特命子ども地域アクターを派遣 (3~5日程度)	
冬	12月2日(日) 第1回子ども地域社会参画促進フォーラム (成果発表会)	

### <問合せ・応募先>

かながわ子どもの地域社会参画推進会議事務局

〒224-0001 横浜市都筑区中川1-4-1-411 (I Love つづき内) NPO 法人ミニシティ・プラス

電話・FAX (045) 306-9004 (月~金 9~17時)

メールアドレス minicityplus@gmail.com

※ 本事業は「神奈川県新しい公共の場づくりのためのモデル事業」の一つとして、県、NPO及び企業で構成される「かながわ子どもの地域社会参画推進会議」が実施します。本事業に関する問合せや応募先は、事務局であるNPO法人ミニシティ・プラスとなります。

### <県ホームページ>

<http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f360604/>



# 持たせるなら、青少年向け携帯電話を!



九都県市（埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、横浜市、川崎市、千葉市、さいたま市、相模原市）は、平成 23 年 11 月から、青少年がインターネットを利用して健全な育成を阻害するおそれがある情報を得ることがないよう必要な配慮を行っていることを認める携帯電話端末等を共同で推奨することとしました。

この制度は青少年に携帯電話端末等を持つことを勧めるものではなく、保護者が青少年に携帯電話端末等を持たせる必要があると判断した場合に、選ぶ際の目安・参考とするためのものです。

2つの年齢区分を設け、「おおむね小学生程度」は、インターネット接続ができないこと、保護者の望まない相手と連絡を取ることを防止できること



等、「おおむね中学生以上」は、安全を確認したサイトのみ利用できること、深夜の利用制限ができること等を推奨基準としています。

また、保護者等に周知するための九都県市推奨マークを定めています。

青少年の携帯電話に関するトラブルを防止するため、発達段階に応じてインターネットの利用について制限、監督する機能の活用を図るとともに、日頃から家庭で携帯電話の適切な利用方法、ルールやマナーを話し合う機会を設けましょう。



九都県市における青少年向け携帯電話端末等推奨マーク

## 神奈川県優良図書のご案内

県では、「児童の健全育成に資すると期待できる図書等の出版物を推薦し、児童の福祉の増進を図ること」を目的に、県児童福祉審議会の審査を経て、優良図書を選んでいます。

今年も、1月30日に開催された同審議会において、幼児以上対象11冊、小学校低学年以上対象7冊、小学校中学年以上対象8冊、小学校高学年以上対象7冊、中学校・高校以上対象4冊の合計37冊が優良図書として選ばれました。

優良図書の一覧は、県内の幼稚園や小中学校、図書館等に配付するほか、県のホームページでご覧いただけます。

心の成長期にある青少年が優良な図書に触れることは、とても大切なことです。青少年に勧める際の参考として、ご活用頂ければ幸いです。



<b>■幼児以上対象</b>
うっとり はなに みとれたら
うんちさま
おすわりくまちゃん
おめでとう おひさま
サーカスのしろいうま
せいぎのみかた ドラフラ星人の巻
せんろはつづく どこまでつづく
たかこ
のはらのおへや
はぶじゃぶじゃん
ふうと はなと たんぼぼ

<b>■小学校低学年以上対象</b>
あさがお
いちねんせいのいたーだきます!
すがたかえ
ずっとまっけていると
ダンダンドンドンかいだんおぼけ
緑のトンネルをぬけて
ヤギのいる学校 一つながるいのちの輪-
<b>■小学校中学年以上対象</b>
北の馬と南の馬
旅のはじまりはタイムスリップ
童謡詩人 野口雨情ものがたり
とくべつなお気に入り
ぼくって女の子??
魔法の庭ものがたり 10 わがまま姫と魔法のバラ
真夜中のカカシデイズ
わすれんぼうにかんぱい!
<b>■小学校高学年以上対象</b>
カイト
子どものための少年詩集 2011
チョコレートと青い空
秘密のスイーツ
へいわってどんなこと?
ラブレター物語
リターン!
<b>■中学校・高校以上対象</b>
浅田真央 さらなる高みへ
異文化への旅路Ⅱ 一夢のカリフォルニアへ犬づれの記-
時代を拓いた女たち 第Ⅱ集 かながわの111人
鉄は魔法つかい 命と地球をはぐくむ「鉄」物語

# 民生委員児童委員は、地域を見守る 近所の“おじさん・お婆さん”

神奈川県民生委員児童委員協議会

民生委員児童委員、主任児童委員をご存知ですか。最近では、平成 23 年 3 月 11 日発生の東日本大震災において、災害時要援護者の安否確認に奔走したという報道が、皆様の記憶に新しいかもしれません。

神奈川県内には、政令指定都市を含めて 1 万人を超す民生委員児童委員がいます。委員の住む地域において、災害時要援護者をはじめ、一人暮らし高齢者や障がい者、子ども・子育て家庭などの見守りなど、個別の相談支援を行っています。「民生委員法」に基づき、厚生労働大臣により委嘱されますが、同時に「児童福祉法」に基づいて“児童委員”にも任じられていることは意外と知られていないことです。

児童委員としては、県内各地で「子育てサロン」などを開催し、子育て中の親子の様子を見たり、悩みを聞いたり、相談にのったりしているケースが多くあります。時には児童相談所等からの依頼によって、児童虐待が疑われる家庭の見守りを行い、その結果を報告しています。そのようなとき、関係機関との間に



**お元気ですか！**

子育てに不安なお母さんも、先輩ママの民生委員児童委員と話をしてニッコリ



**お帰りなさい！**

登下校時の見守りパトロールにいつもの笑顔

入って連絡調整等を専ら行うのが主任児童委員です。

民生委員児童委員、主任児童委員は、専門職ではありません。地域に共に住み、子どもたちの成長の過程をずっと見守ることのできる「地域のおじさん・お婆さん」です。子ども・子育て家庭をとりまく多くの専門機関・役割を持つ皆様と協力し、子どもの育ちを見守っていきたく考えています。



## 神奈川県青少年保護育成条例 施行規則の一部改正について

神奈川県青少年保護育成条例では、個室等を設けた営業施設（密着エステ、見通しの悪いカラオケボックス・インターネットカフェなど）について、青少年の健全育成を阻害するおそれがあると認められる場合には、知事が当該施設を個別に指定し、青少年の客としての立ち入りや接客業務への従事を禁止する規制が設けられています。

このような個室等を設けた営業については、法の目をかいくぐって次々に新しい形態の営業が出現するため、新たな形態の営業が出現した場合には、その営業内容を神奈川県青少年保護育成条例施行規則で規定することに

より、規制の対象とすることができます。

このたび、青少年に卑わいな姿態（着用する下着等が覗き見えるようなポーズ）をとらせ、個室に設置されたマジックミラー越しに男性客が観覧する営業、『女子高生見学クラブ』が出現したため、神奈川県青少年保護育成条例施行規則の一部を改正し、規制の対象に加えました。（施行：平成 23 年 12 月 1 日）

今後も青少年の健全な育成を阻害するおそれのある有害環境の健全化を図って参りますので、新たな有害営業施設を発見した場合などは、県青少年課にご連絡をお願いいたします。

横浜

## 第31回ボイス・オブ・ユース(青少年の主張)

横浜市南区青少年指導員協議会 会長 水野 計

ボイス・オブ・ユース(青少年の主張)は、昭和56年に第1回が開催されて着実に歩み続け、本年度で第31回目を迎えました。20年前には130編ほどであった応募数も徐々に増え、本年度は3,469編の応募となりました。この事業は、子どもたちの夢、社会や大人に伝えたい意見・思いなどを綴った作文全てに南区の青少年指導員が目をとおり、現代の子どもたちが抱えている素直な気持ち・考え・意識を理解し、今後の活動に生かしていこうとする発想から生まれた、とても重要な取り組みです。

今回は「地域活動に参加して」、「私の夢」など5つのテーマを設定しました。応募された作文の特徴は、多くの児童・生徒が昨年体験した「東日本大震災で感じたこと」というテーマをとりあげ、当時の自分やご家族の体験、節電への取り組みや被災地支援のために自分が出来ることなど、さまざまな思いが記されていました。

11月27日(日)には、応募作文の中から入選した86編の作文の表彰式および代表作文の発表を行いました。

た。当日の受付・司会進行などの運営は区内の小・中学生が行っており、青少年指導員は補佐役としてサポートしています。

今後もこのような事業を通じて区内の子どもたちと視線を同じくするよう心がけ、活動を続けていきたいと思っています。



【「小学生の部」 発表風景】



# 活動ガンバっ

## ～ 地域活動

湘南

## クリスマス・お正月リース作り

伊勢原市青少年指導員連絡協議会 会長 亀井善夫

伊勢原市では、市内全7地区で「少年地域体験学習事業」を実施しています。

内容は、北地区「史跡めぐり」、南地区「パスタのリース作り」、大山地区「芋ほり」、高部屋地区「マスのつかみ取り」、比々多地区「ウォークラリー」、成瀬地区「ナイトウォーク」、大田地区「クリスマス・お正月リース作り」といった行事で、毎年恒例になっています。

今回は、12月11日(日)に実施した「クリスマス・お正月リース作り」を紹介します。

地元農家の方から提供していただいた特別な稲わらを手に、作業が始まりました。

講師から「時計まわりに燃(よ)って・・・」、「次は反時計まわりに燃(よ)って・・・」と編み方の指導を受け、参加した子ども達は、二つに分けた稲わらを同じ方向に燃(よ)りながら編んでいくのに苦戦していました。それでも、友達やお父さん・お母さんの協力を受けて出来上がっていくリースに満足な様子で、思い思いの飾りつけをした世界でたった一つのオリジナルリースが

完成すると、大きな歓声が上がりました。

片付け終了後、地元産の野菜がたっぷり入った「お楽しみ汁(今回は豚汁でした)」が振る舞われると、参加者の笑顔がより多くなり、楽しい体験になったと思います。

今後もこのようなふれあいの場を提供していきたいと思っています。



【世界でたった一つのオリジナルリース】

足柄上

## コミュニケーション豊かな地域づくりを目指して ジュニアリーダーの育成から期待すること

大井町青少年指導員協議会 議長 山口 正

大井町青少年指導員協議会では、ジュニアリーダーの育成に力を入れています。当町のジュニアリーダーは中学生から概ね 25 歳くらいまでの青少年を対象としており、「次世代のリーダーとなること」を目標に 8 年前に立ち上げました。設立当初は、どのように育成していくか指導員どうして熱心に話し合い、指導員が講師となって研修会を行ったりしましたが、現在では先輩ジュニアが後輩を指導するようになり、縦のつながりが育ってきています。現在の会員数は 45 人で、主な活動は夏に開催する小学 4～6 年生を対象にした 1 泊 2 日の子どもキャンプや、町や子ども会行事のボランティア、また自主研修としてジュニアリーダーキャンプなどです。

これらの行事には青少年指導員は必ず一緒に活動しますが、指導員が心がけていることは、つい口を挟みたくなくとも口を出さないということです。そうすることで、ジュニア自身が考えながら行動し、自主的に責任を持って行動できるようになるからです。「指導員はサポーターで手を出さない！」を合言葉に温かい目で

見守っています。

青少年指導員協議会の活動はジュニアリーダーの育成以外にもふれあいスキーの開催や夜間パトロールなどこのほかにも沢山ありますが今回は割愛させていただきました。今後もジュニアリーダーの育成や諸事業を通して地域の大人と子どもたちが益々盛んにふれあい、コミュニケーション豊かな地域づくりができればと願っております。



【子どもキャンプ】

# ていいます！

## 報告 ～



川崎

## 第22回中原区青少年吹奏楽コンサート

川崎市中原区青少年指導員連絡協議会 副会長 工藤由美雄

第 22 回中原区青少年吹奏楽コンサートが、平成 23 年 11 月 3 日(文化の日)に、川崎市総合福祉センター(エポックなかはら)に於いて開催されました。

これもひとえに皆様のご支援の賜物と心から感謝申し上げます。今回で 22 回を迎えたコンサートは、中原区協働推進事業の一環として、青少年指導員連絡協議会と区役所が主催し、区内の参加校の生徒・先生のご協力を得ながら運営をしています。

「音楽のまち・かわさき」にふさわしい事業で、音楽を通じて情操豊かで、創造性溢れる青少年の育成をめざして開催しております。当日の参加は、中学校が 7 校、高等学校が 5 校の 12 校の吹奏楽部と、ゲスト演奏と中高 8 校の有志による合同演奏でした。持ち時間の限られた中で、日ごろの練習の成果を存分に披露され、ご来場の老若男女が楽しめる演奏曲も多く取り入れられ会場と演奏者の一体感を感じました。ゲストには、尺八・三味線・民謡の川蝉会による日本人の心に響く「和」の演奏に、ご来場の皆様も堪能されたと思います。

最後に、当日が初めての顔合わせとなる、90 名を超える合同演奏も若い力のチームワークの良さで素晴らしい演奏になり、「上を向いて歩こう」・「中原の歌」は会場と一つになって大きな声が響き、大変盛り上がり、大きな「絆」がまた一つ出来たように思いました。今回会場に東日本大震災の義援金箱を置き、この中にもご来場の皆様方の温かい支援と大切な絆を頂きました。

今後とも、皆様から、寄せられたアンケートを生かし、次回へより良いコンサートをめざし、生徒達と一緒に進めていきたいと思ひます。吹奏楽を通じ、皆様の絆を結ぶ役目になるコンサートを目指していきます。楽しみにしててください。



【第 22 回中原区青少年吹奏楽コンサート】



(平成 24 年 4 月～9 月の予定)

◆横浜市

○ホテル観察のタベ (神奈川区)
6月8日(金)(荒天時6月15日(金)に順延)
19:15~20:30
神奈川県立四季の森公園
区内在住又は在学の小中学生と保護者

◆川崎市

○6月無灯火自転車指導活動
6月14日(木)19時~(雨天中止)
川崎区南町交番前
中央地区青少年指導員会が毎年春・秋年2回実施している無灯火自転車に対する指導活動を6月の定例会開催前に実施する。警察との連携により、チラシやウエットティッシュ等を配布しながら啓発活動を行う。

○大師地区工作教室
7月下旬の日曜日
川崎区役所大師支所
身近な材料で簡単に作れるものを青少年指導員が小学生を対象に教える。

○田島地区青少年指導員会夏休み子ども映画会
7月中旬~下旬に3回開催(場所5月決定)
臨港・田島中央・小田各地区の小学校
小学校の校庭で大きめのスクリーンを使用し、映画を数本上映する。

○第47回全中原中学生卓球大会
8月5日(日)
大島小学校 体育館
川崎市とどろきアリーナ・サブアリーナ
区内中学校卓球部員によるトーナメント方式の卓球大会

青少年の健全育成を進める県民大会

今年、7月14日(土)13時から川崎市の高津市民館で開催されます。地域で青少年の健全育成に向けた取組を実践している事例を紹介しながら、関係者の連携・協力、地域づくりコミュニティづくりを進めるうえでの課題などを話し合っていきます。現在、県青少年指導員連絡協議会も参画している「かながわ青少年社会環境健全化推進会議」で大会企画を検討していますので、皆さんも奮ってご参加ください。

【交通アクセス】

JR南武線 武蔵溝ノ口駅、東急田園都市線・大井町線 溝の口駅下車 徒歩2分

かながわ子どもスマイル(SMILE) ウェーブ

神奈川県教育委員会では、子どもたちと家庭・地域の大人たちとの様々な交流やコミュニケーション機会を充実させ、子どもの自己肯定感や規範意識を育てることで、子ども、学校、地域に笑顔があふれる神奈川を創造するために~かながわ子どもスマイル(SMILE)ウェーブ~を推進しています。

SMILEには、子ども・学校・地域の笑顔を示すとともに、Support(子どもの育ちを支援)、Magnet(地域や人のつながり)、Interest(子どもの育ちへの関心)、Life(いのちを守り、育む)、Enjoy(楽しみながら取り組む)という意味を込めています。

かながわ子どもスマイル(SMILE)ウェーブについて、詳しくはHPをご覧ください。

ホームページアドレス http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f370184/

Graphic with icons for '子ども', '学校', '地域' and the text '三つのスマイル'. It lists 'Support', 'Magnet', 'Interest', 'Life', 'Enjoy' and explains how they lead to '笑顔があふれるよう' (smiles everywhere) and 'めざす将来像' (vision for the future).

編集後記 つばさ編集委員 石田 陽子

「つばさ」第46号をお届けいたします。今年に入り、世界同時不況を招き、雇用不安が深刻な問題となっています。青少年も、こうした社会環境と無縁ではありません。年々進む犯罪の低年齢化が危惧されていますが、世相に押し流されず、頑張っている子供達があります。子どもたちを支え、未来に向かっての夢を与えなければならないと思います。最後に「つばさ」発行に際し、ご協力に感謝いたします。ありがとうございました。

「つばさ」第22期編集委員
猪俣 武雄 横浜地域 鈴木 浩子 川崎地域 平尾 正之 県央地域
石田 陽子 西湘地域 石井 英明 担当理事